

R6 グランドデザイン案(解説)

全職員構想会議にて出された意見を基に目指す子供の姿を変更

全職員構想会議にて出された意見を基に、学校教育目標を修正(子供が自立することを最初に打ち出し、子供たちが創りあげる学校を意識した目標)

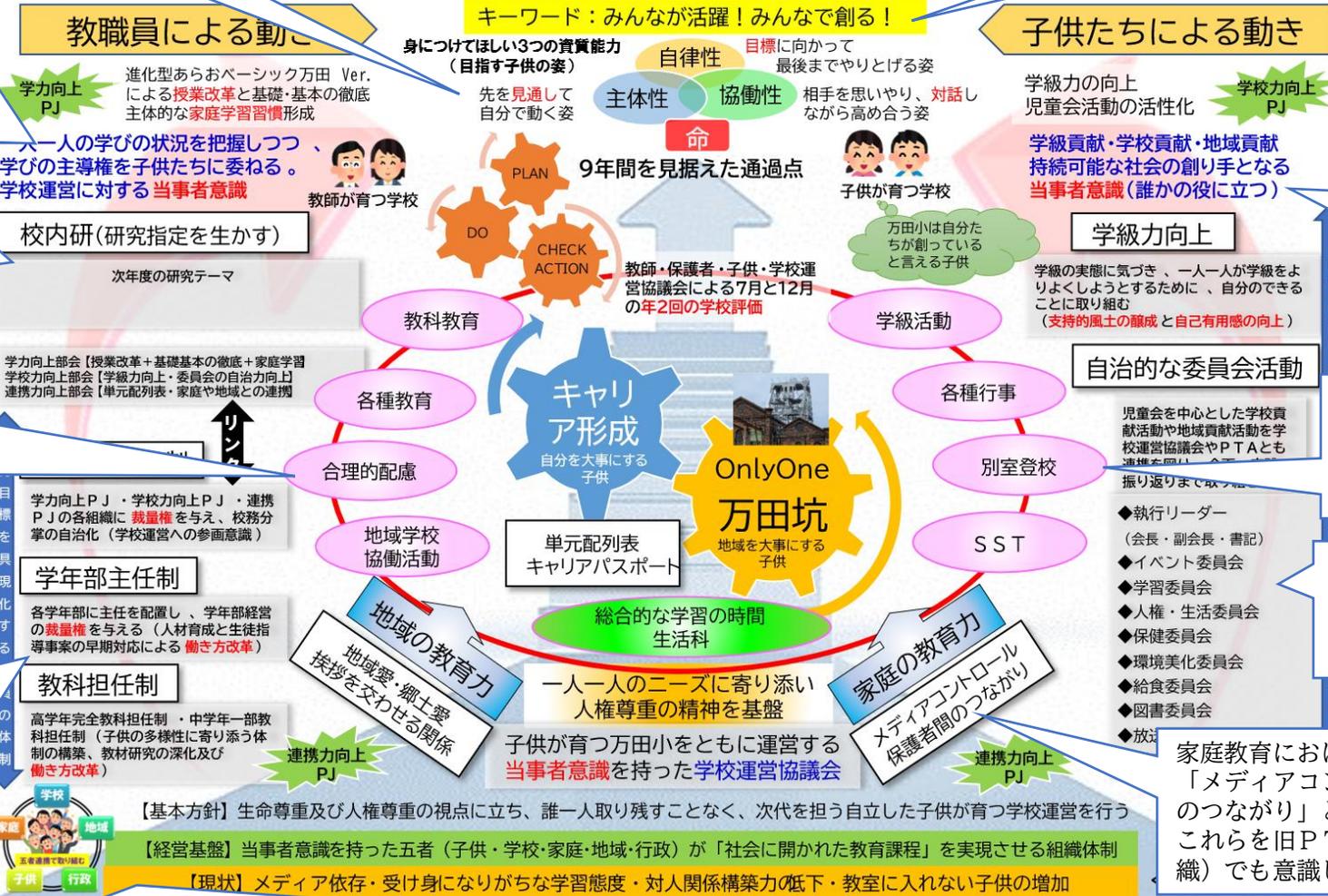
教育目標の修正に伴い、キーワードも変更して意識化を図った

学びの主導権を子供たちに委ねる(意識改革)ものの、子供たちの学びの状況の把握は教師の大きな役割として明記

R6年度荒尾小学校

【教育目標】子供が自立し、みんなの活躍で創り上げる学校

経営者ブランドデザイン



2年間の研究指定を生かして取り組む
研究テーマは、別途検討する

校内研(研究指定を生かす)

今後、特別支援学級入級のハードルが上がる可能性から、通常学級での合理的配慮を強化する意味で加筆

次年度の研究テーマ

多様性の時代であり様々な子供に対応するため、「学年全体・学年部全体の子供たちを包括して担任しているという意識」を全員で持つ

学年部主任制

教科担任制

貢献意識をわかりやすくするため「誰かの役に立つ」を加筆

教室に入れない子供の増加に伴い加筆した。保健室とは違う場所と人の確保

新5年生の人数が少ないことにより。栽培飼育委員会をボランティア委員会に統合

家庭教育における課題として「メディアコントロール」「保護者間のつながり」とした
これらを旧PTA(R6年度から新組織)でも意識してもらいたい

【現状】を修正
現在の状況を基に文言を修正「メディア依存」「教室に入れない子供の増加」を加筆 「自らを律することの欠如」「学習意欲の低下」は削除した
特に、次年度は教室に入れない子供たちへの対応が急務であり、居場所づくりにおいてハード面・ソフト面の両方を意識して取り組んでいく。

教職員による動き

学力向上PJ

進化型あらおベーシック万田Ver.による授業改革と基礎・基本の徹底
主体的な家庭学習習慣形成

一人一人の学びの状況を把握しつつ、
学びの主導権を子供たちに委ねる。
学校運営に対する当事者意識



教師が育つ学校

校内研(研究指定を生かす)

次年度の研究テーマ

学力向上部会【授業改革+基礎基本の徹底+家庭学習】
学校力向上部会【学級力向上・委員会の自治力向上】
連携力向上部会【単元配列表・家庭や地域との連携】



プロジェクト制

学力向上PJ・学校力向上PJ・連携PJの各組織に裁量権を与え、校務分掌の自治化(学校運営への参画意識)

学年部主任制

各学年部に主任を配置し、学年部経営の裁量権を与える(人材育成と生徒指導事案の早期対応による働き方改革)

教科担任制

高学年完全教科担任制・中学年一部教科担任制(子供の多様性に寄り添う体制の構築、教材研究の深化及び働き方改革)

キーワード：みんなが活躍！みんなで創る！

身につけてほしい3つの資質能力(目指す子供の姿)

自律性

目標に向かって最後までやりとげる姿

主体性

先を見通して自分で動く姿

協働性

相手を思いやり、対話しながら高め合う姿

命

9年間を見据えた通過点



教師・保護者・子供・学校運営協議会による7月と12月の年2回の学校評価

子供たちによる動き

学級力の向上
児童会活動の活性化

学校力向上PJ

学級貢献・学校貢献・地域貢献
持続可能な社会の創り手となる
当事者意識(誰かの役に立つ)



子供が育つ学校

万田小は自分たちが創っていると言える子供

学級力向上

学級の実態に気づき、一人一人が学級をよりよくしようとするために、自分のできることに取り組む
(支持的風土の醸成と自己有用感の向上)

自治的な委員会活動

児童会を中心とした学校貢献活動や地域貢献活動を学校運営協議会やPTAとも連携を図り、企画・実践・振り返りまで取り組む

- ◆執行リーダー(会長・副会長・書記)
- ◆イベント委員会
- ◆学習委員会
- ◆人権・生活委員会
- ◆保健委員会
- ◆環境美化委員会
- ◆給食委員会
- ◆図書委員会
- ◆放送委員会
- ◆ボランティア委員会

キャリア形成

自分を大事にする子供

OnlyOne 万田坑

地域を大事にする子供

総合的な学習の時間
生活科

一人一人のニーズに寄り添い
人権尊重の精神を基盤

子供が育つ万田小をともに運営する
当事者意識を持った学校運営協議会

地域の教育力
地域愛・郷土愛
挨拶を交わせる関係

連携力向上PJ

家庭の教育力
メディアコントロール
保護者間のつながり

連携力向上PJ

【基本方針】生命尊重及び人権尊重の視点に立ち、誰一人取り残すことなく、次代を担う自立した子供が育つ学校運営を行う

【経営基盤】当事者意識を持った五者(子供・学校・家庭・地域・行政)が「社会に開かれた教育課程」を実現させる組織体制

【現状】メディア依存・受け身になりがちな学習態度・対人関係構築力の低下・教室に入れぬ子供の増加

幼・保各園との連携
くまもとスタンダード



教育目標を具現化し、自分たちで学校を創ろうとする体制